

## プベルル酸に関する意思決定は未実施と回答 一方、対応において当該物質を前提としていたとの回答 食中毒対応との関係について「齟齬なし」と回答

---

### 【リード文】

小林製薬の紅麴問題を巡り、大阪市保健所は「プベルル酸について組織として意思決定していない」と回答した。また、食中毒対応における取扱いについても説明が示された。同回答では、両者の関係について「特段の齟齬はない」との回答が示された。（令和 8 年 5 月 21 日付・大大保 8072 号）

本リリースは、大阪市保健所からの回答内容を事実ベースで整理したものです。

### 【本文】

#### ■ 大阪市保健所の回答内容

大阪市保健所は以下の通り回答した。

- ・ 「プベルル酸」という用語について組織的意思決定は行っていない
- ・ 文書化される性質のものではない
- ・ 食中毒対応においては当該物質を前提として取り扱っていた

また、これらの関係については「特段の齟齬はない」との回答が示された。

#### ■ 不存在決定との関係

この回答は、令和 8 年 4 月 20 日付の不存在決定（大大保第 8033 号）を起点としている。同決定では「プベルル酸という用語の使用について意思決定は行っていない」とされていた。実際の行政対応については、当該物質を前提として取り扱っていた旨が示された。これらに係る組織的判断を示す文書については、開示請求において確認されていない。

#### ■ 関連する行政対応の記録

あわせて開示文書から以下も確認されている。

- ・ 試料は小林製薬の自主回収品由来（大大保 8639 号）
- ・ 市による収去は未実施（大大保 8562 号）

### 【今後について】

当社は本件に関する事実関係の確認を継続し、追加情報を公表する予定です。本プレスリリースは、当社が継続して公表している紅麴関連事案シリーズの第 70 号です。

---

### 【会社概要】

会社名：株式会社薫製倶楽部

所在地：岡山県都窪郡早島町

事業内容：食品製造・販売

紅麹関連情報：<https://kunsei.com/archives/category/benikoji>